

台北金馬映画祭
2017

香港国際映画祭
2018

大阪アジア映画祭
2019

バンクーバー台湾映画祭
2018

シアトル台湾映画祭
2018

第11回中国語
ドキュメンタリー映画祭(香港2018)
長編部門グランプリ受賞

將出

陳錫煌

相入

台湾、 街かどの 人形劇

父から受け継いだ赤い小箱の中には、
戯劇の神さまがいる
侯孝賢監督映画の常連俳優で
布袋戯の巨匠・李天祿の息子・陳錫煌を
台湾ドキュメンタリー映画界の巨匠・楊力州が追った注目作!!

ホウ・シャオシェン
監修: 侯孝賢
ヤン・リージョウ
監督: 楊力州
チェン・シーホアン
出演: 陳錫煌

プロデュース: 朱詩蓓(チュウ・シーチェン)、
田欣樺(ティエン・シンホア)、黄丹琪(ホアン・ダンチー)
演出: 朱詩蓓(チュウ・シーチェン)
発行/制作/配給: 後場音像記録工作有限公司
映画配給会社: 星泰国際娛樂股份有限公司
特別感謝: 中華文化總會
原題: 紅盒子-Father
後援: 台北駐日經濟文化代表処台湾文化センター
協力: 大阪アジア映画祭
日本語字幕: 青井哲人+亭菲(フエイ)
提供: 太秦・マクザム 配給: 宣伝: 太秦
©Backstage Studio Co., Ltd.
2018 | 台湾 | カラー | DCP | 5.1ch | 99分

www.machikado2019.com

Production Company: Backstage Studios
Director-cinematographer: Yang Li-chou
Executive Director: Yuki Chu
Producer: Michelle Chu, Huang Dan-chi, Tian Shin-hua
Executive Producer: Hou Hsiao-hsien
Music: Ko Chih-hao, Lee Che-yi



こ

この映画は台湾伝統布袋戲の技、その伝承、そして父子関係に関するドキュメンタリーです。10年に及ぶ撮影期間中、布袋戲の文化は言語の弾圧・エンタテインメントの多様化など不可逆な状況を目撃してきました。台湾伝統布袋戲が消えつつある現状にもぜひ目を向けてください。

監督 楊力州

ほていげき 布袋戲とは

「Thunderbolt Fantasy 東離劍遊紀」など日本でも一番注目を集める、台湾の民間芸能のひとつ。布袋でできた人形衣装の中に手を入れて操ることから「布袋戲」といわれる。李天祿と陳錫煌は、親子2代続けての人間国宝である。



布袋戲は第一に神への敬意を表すためにある人に見せるのはその次だ。旅の前には平安を祈り、無事に帰れば一幕演じて、神にお礼を

台

台湾の人間国宝で布袋戲の人形遣い・陳錫煌は、80歳を超えたいまも世界各国で公演し、多くの人々を魅了している。墨を摺る指先、キセルを燦らす恍惚とした人形の表情、ダイナミックで軽やかな大立ち回り、繊細で力強い生命力にあふれた人形たちが、陳錫煌の指先から生み出されていく。

70年代以降、現代風にアレンジされた布袋戲がテレビで人気を博す一方で、伝統的な布袋戲の観客は減少していった。台湾の伝統芸能を継承する為に奔走する陳錫煌の元には、フランス人のルーシーをはじめ多くの弟子が集まっているが、薄れゆく伝承への焦りは日々募る一方だ。

侯孝賢監督映画の常連俳優で、人間国宝であった偉大なる父・李天祿の背中を追いかけてきた。人生の最晩年に至った陳錫煌が、まるで生まれ変わったように、渾身の力を振り絞り、守り伝えようとしたものに、私たちの心は静かに揺さぶられてくるに違いない。



監修: 侯孝賢(ホウ・シャオシェン)
監督: 楊力州(ヤン・リージョウ)
出演: 陳錫煌(チェン・シーホアン)
©Backstage Studio Co., Ltd.
2018 | 台湾 | カラー | DCP | 5.1ch | 99分
www.machikado2019.com
Twitter: @tw_machikado

映

画『戲夢人生』(93)など侯孝賢映画の名脇役にして、布袋戲の大家である李天祿。長男・陳錫煌は、母の姓を継いだ事で父との間に深い葛藤が生まれ、自身が80歳を超えたいまも、そのわだかまりは消える事はない。13歳から布袋戲の人形遣いとして芸を磨き、家を継ぐこと、名前を継ぐこと、芸を継ぐこと、親子でありながらも師弟であるが故の深く抜け出したい感情。どの時代にも共通する、親子のそして師弟の葛藤と、天命を知る者ゆえの闘いの記録が描きだされる。

若くして台湾アカデミー賞といわれる金馬獎最優秀監督賞を受賞し、その後も金馬獎50周年記念作品『あの時、この時』をはじめ多くのドキュメンタリー映画を世に送り出している楊力州監督。本作では陳錫煌の人生から台湾の翻弄された歴史そのものを描き出し、大阪アジア映画祭2019特集企画『台湾: 電影ルネッサンス2019』で上映され、大きな話題となった。布袋戲とそれに関わる人々が体験した悲喜交々の出来事は、そのまま台湾の歴史であり、一世紀に及ぶ台湾の歳時記でもあるのだ。